

H27科研費の獲得に向けて

1. 科研費とは
2. 科研費予算の推移
3. 理大の現状
4. 採択率をUPするために
5. 応募者のメリット
6. 不正防止について
7. 応募に向けたスケジュール

平成26年7月17日 教授会(4学部)
学外連携推進室

科研費とは

**「自由な発想に
基づく研究」**

に対する

「競争的資金」

です。

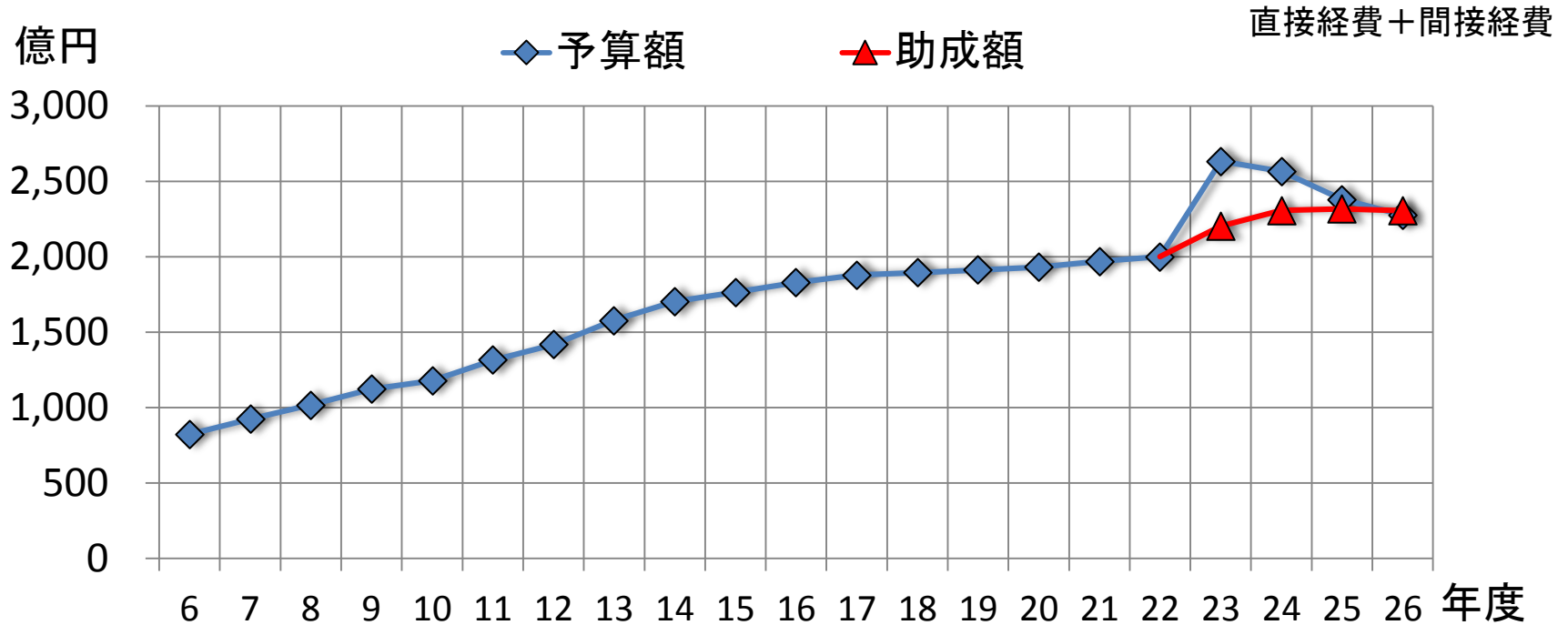
**「リスクを背負ってでも、
やりたい研究を
思い切りやってください」**

という主旨のお金です。

**活発な研究活動は
教育活動にリンクします。**

科研費予算の推移

2. 科研費予算



助成額はほぼ増え続けてきた

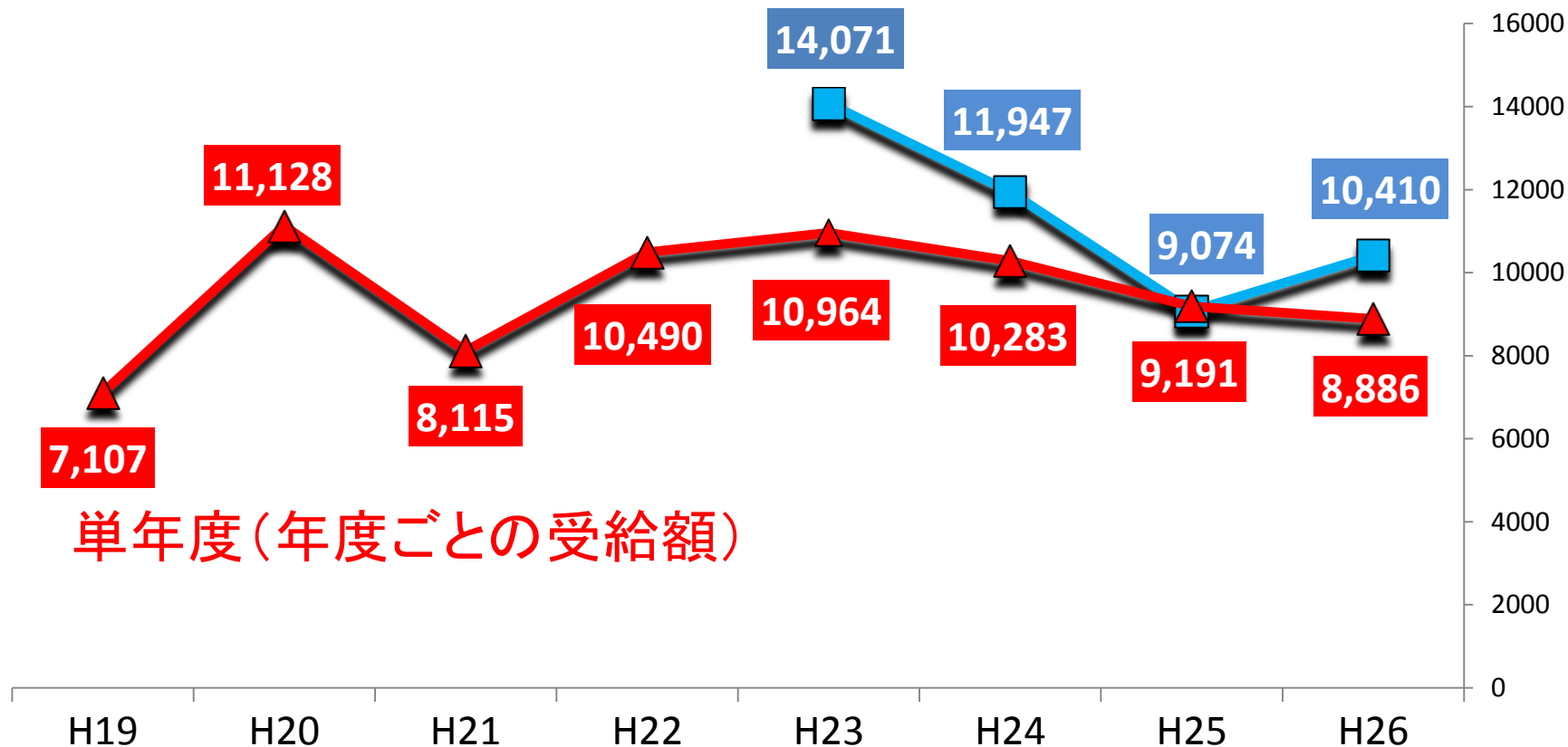
「助成額」 基金分を[単年度]で見た額

「予算額」 基金分を[複数年]で見た額

科研費の獲得状況

複数年(その年度以降確約された受給額)

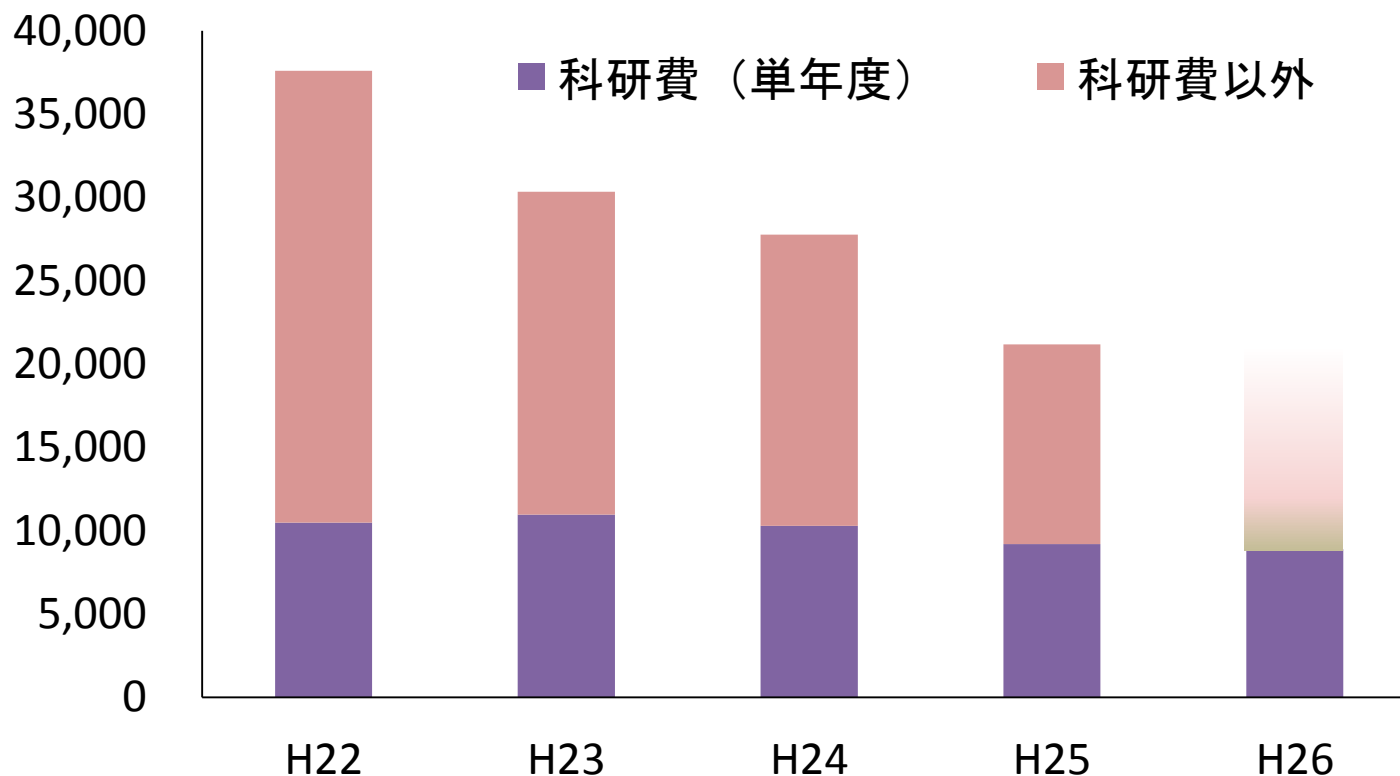
単位:万円



理大の毎年の受給額は減少傾向

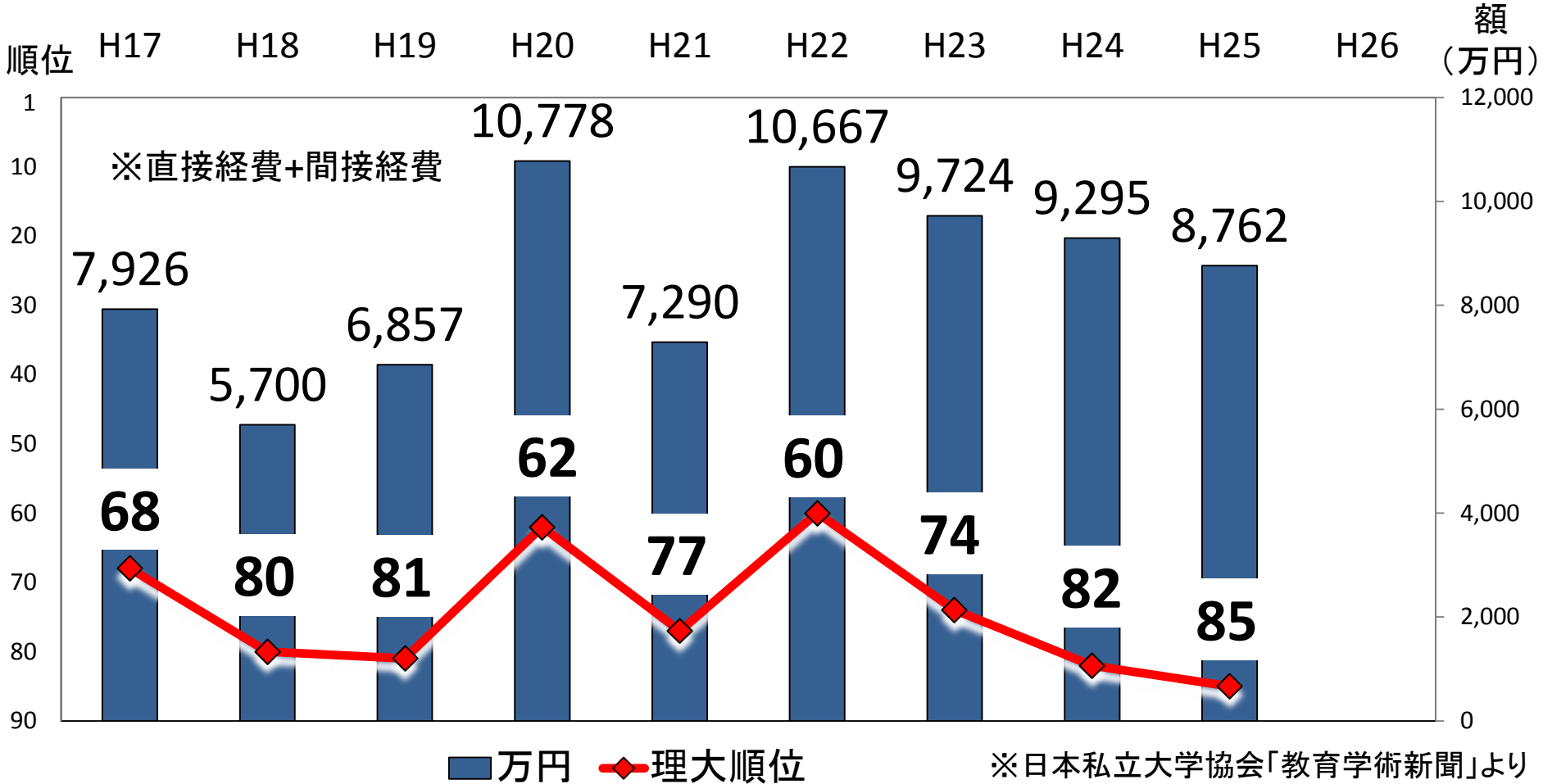
外部資金としての科研費

単位:万円



科研費は理大の外部資金を支えている

全国私大 配分額※ランキング (新規+継続)



理大のランクは低下傾向

所属別 応募率 (新規+継続)

“**全国**” 大学教員応募率^(※1) 計:67%

(国立:110% 公立:80% 私立:38%) (H25実績)

理大 ^(※2)	理	工	総情	生地	附属施設等	計
教員数	106	96	31	19	12	264
応募件数	47	50	9	9	8	123
昨年応募率 ^(%)	48	58	23	45	33	48
H26応募率 ^(%)	44	52	29	47	67	47

理大は、全国の私立大と比べ応募は多いが、国公立を含めた全体で見ると少ない。

※1:「平成24年度学校基本調査」の人数による。

※2:教員組織表(学内)用による。

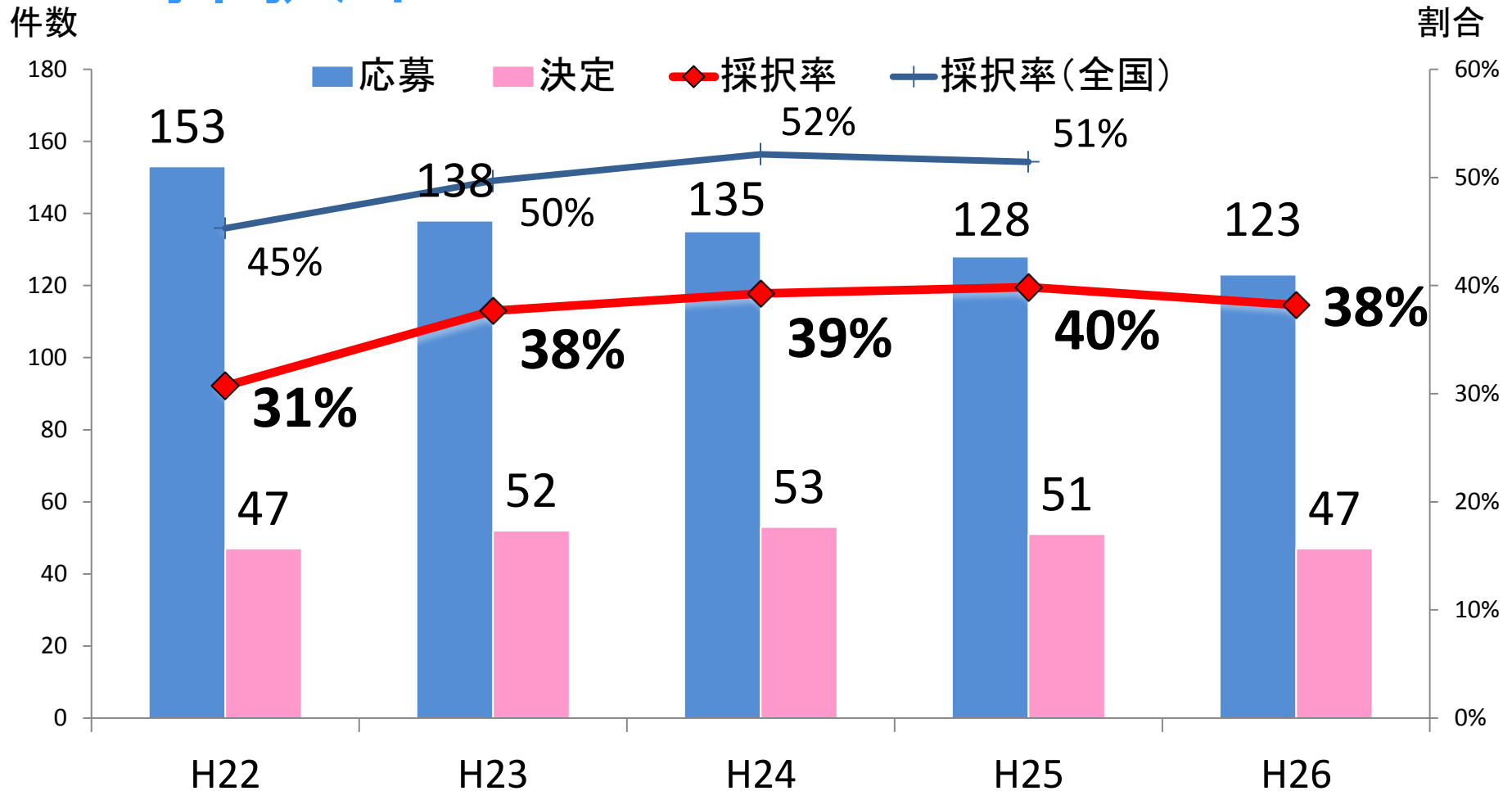
採択数	22	12	8	4	1	47
-----	----	----	---	---	---	----

種目別 新規のみ 採択率

(H26.5現在)	応募数	決定数	採択率(%)		全国採択率(%)	
			昨年	H26	昨年	H26
新学術	6	1	20	17	19	
基盤A	1	0	0	0	24	
基盤B	9	2	0	22	25	
基盤C	54	13	15	24	30	
挑戦的萌芽	11	2	13	18	26	
若手A	0	—	—	—	22	
若手B	10	0	29	0	30	
スタート支援	3	未定	—	未定	25	
全体	94	18	15	19	27	

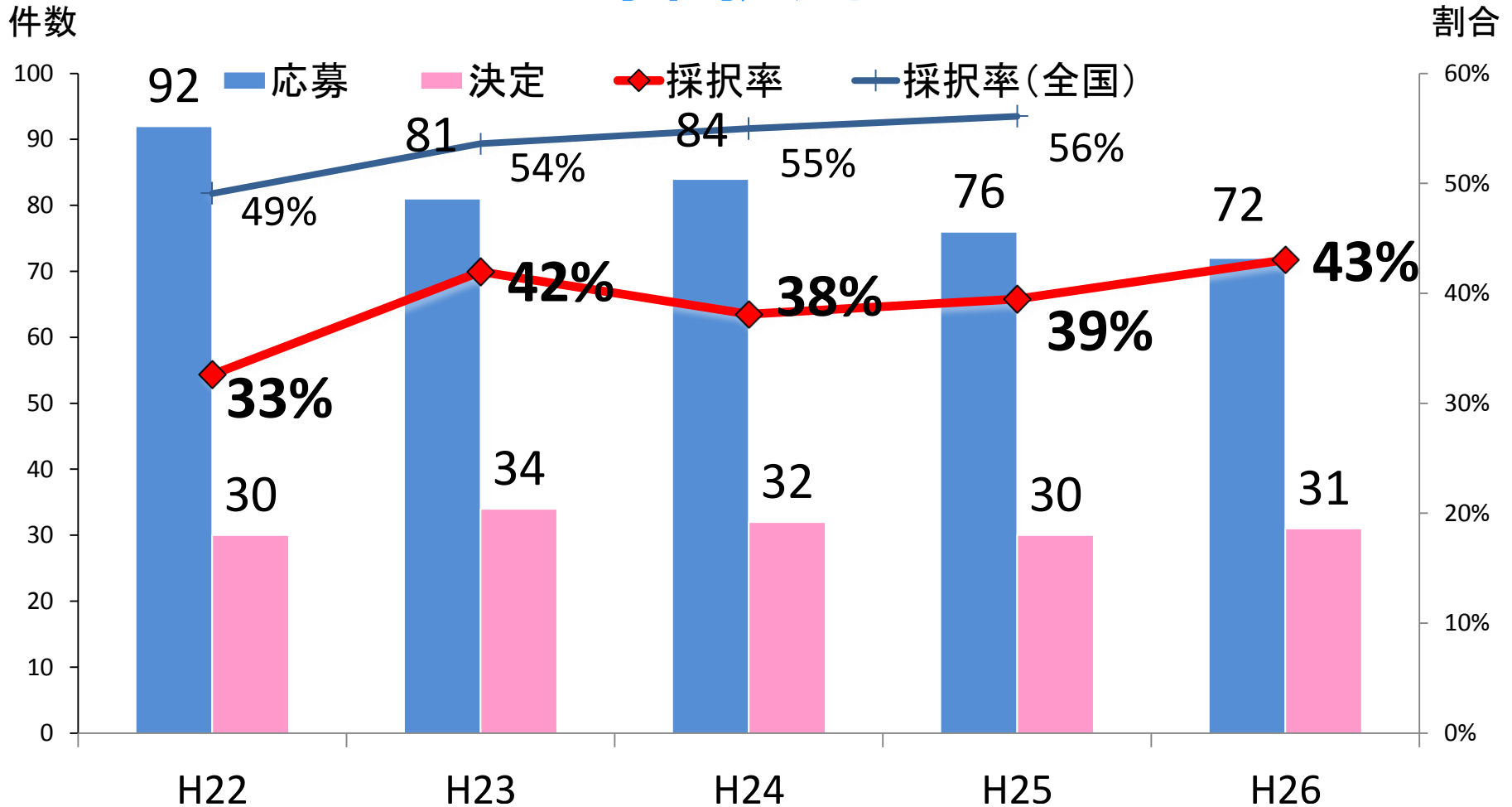
基盤BC躍進, 若手低調, 全体では向上

採択率 (新規+継続)



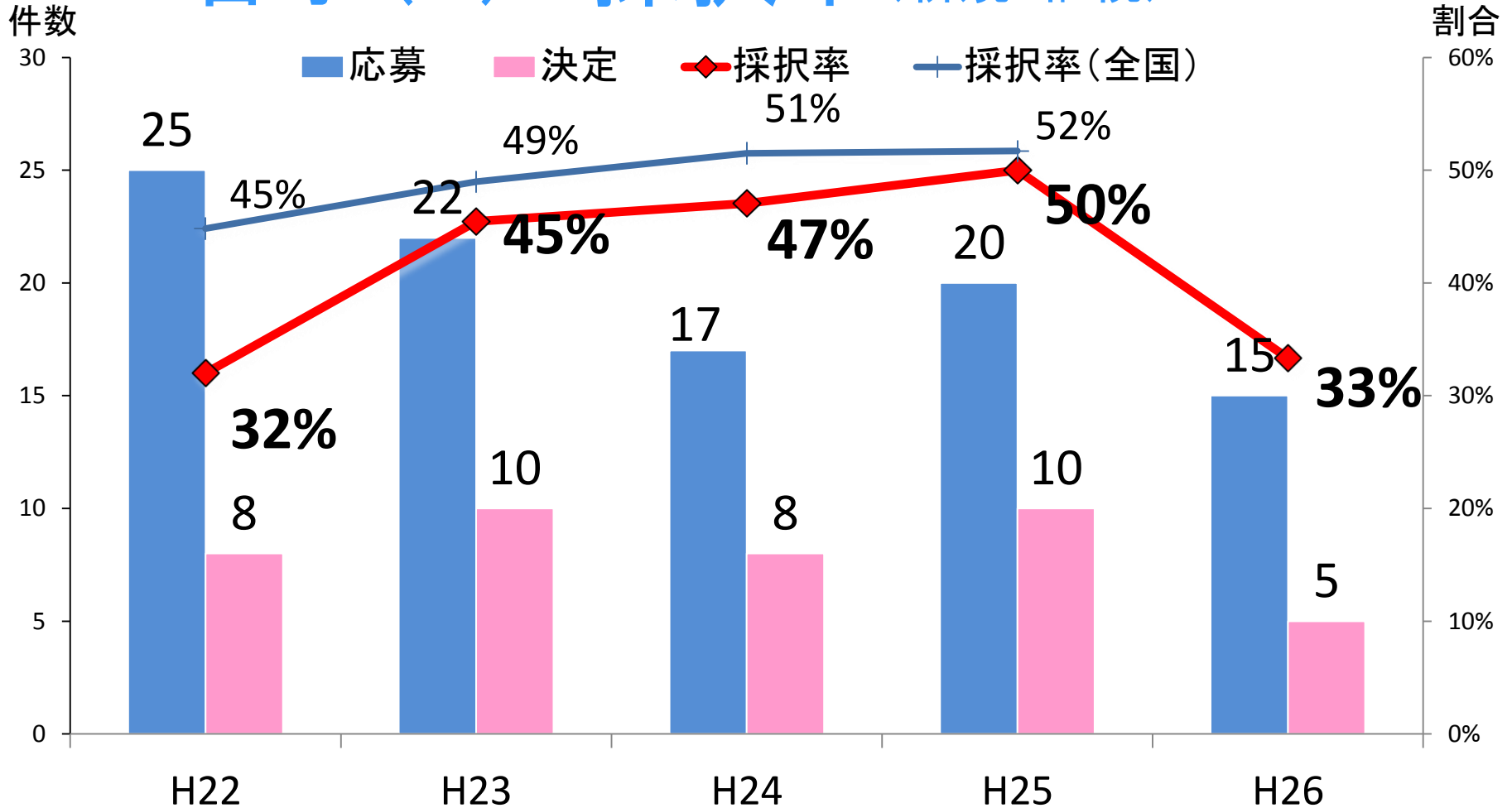
新規のみ 理大: 19% 全国平均: 27%(H25)
 (過去3年間 理大: 15~16% 全国: 27~29%)

基盤(C) 採択率(新規+継続)



新規のみ 理大:24% 全国平均:30%
 (過去3年間 理大:15~16% 全国:30%)

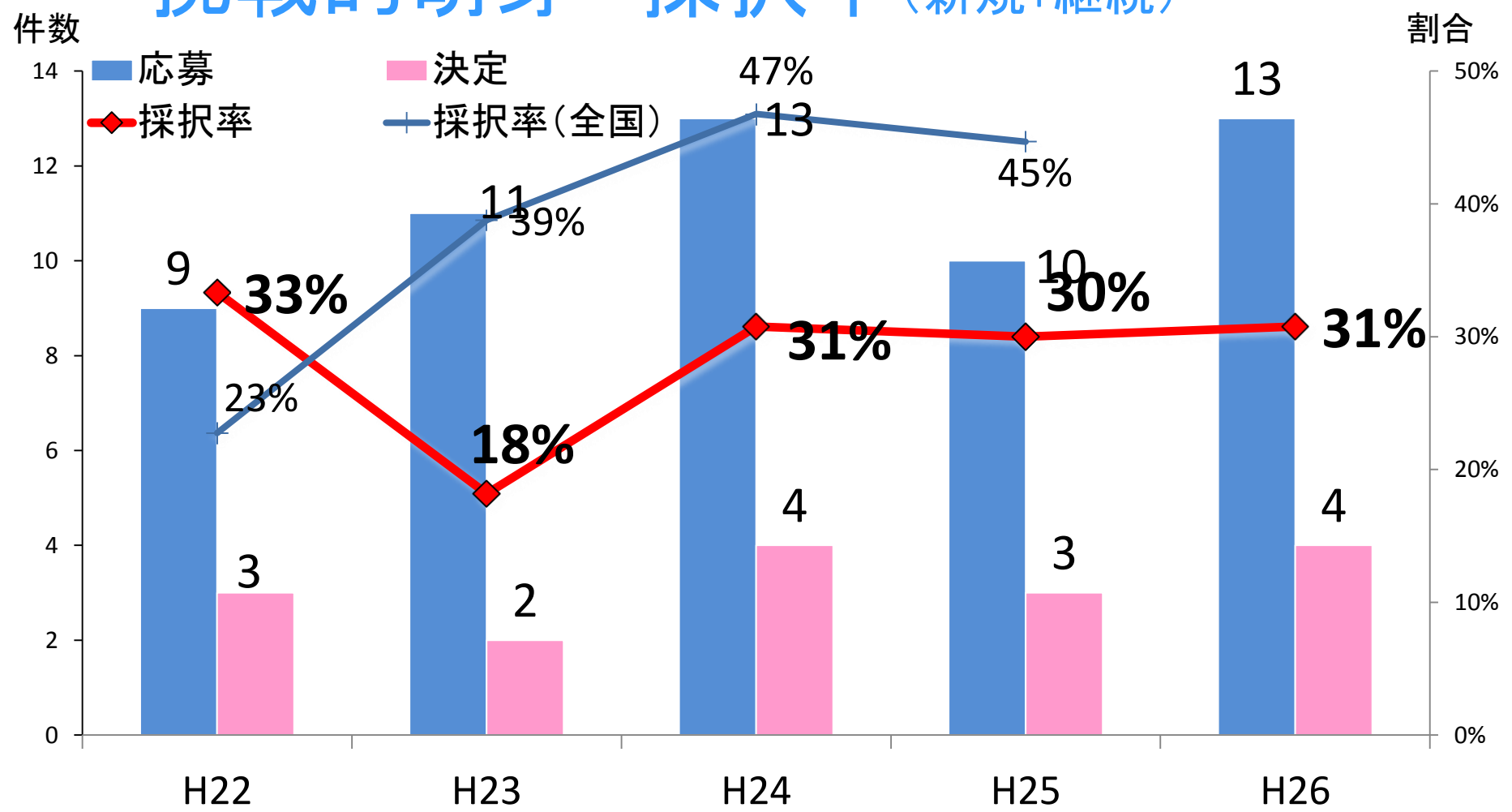
若手(B) 採択率 (新規+継続)



新規のみ 理大:0% 全国平均:30%

(過去3年間 理大:9~29% 全国:30%)

挑戦的萌芽 採択率(新規+継続)



新規のみ 理大: 18% 全国平均: 26%(H25)
(過去3年間 理大: 10~25% 全国: 26~30%)

学科別 応募率ランキング (新規のみ)

順位	昨年	所属	教員数(※)	応募数	応募率(%)
1	2	臨床	15	10	67
2	4	情工	16	9	56
3	1	生体	11	6	55
4	-	情処セ	2	1	50
5	7	応化	15	7	47
6	8	建築	12	5	42
7	3	化学	15	6	40
8	9	自然研	8	3	38
9	10	生地	19	7	37
10	11	電シ	14	5	36

※教員組織表(学内用)での数

学科別 応募率ランキング (新規+継続)

順位	昨年	所属	教員数(※)	応募数	応募率(%)
1	1	生体	11	9	82
2	2	臨床	15	11	73
3	3	知能	12	8	67
4	8	情工	16	9	56
5	6	応化	15	8	53
6	7	建築	12	6	50
6	8	情処セ	2	1	50
8	7	生地	19	9	47
9	7	応数	17	8	47
10	11	化学	15	7	47

※教員組織表(学内用)での数

学科別 採択率ランキング (新規のみ)

順位	昨年	所属	応募数	採択数	採択率(%) (※)
1	1	情科	2	2	100
2	-	基理	5	4	80
3	-	社情	3	2	67
4	-	臨床	10	3	30
5	1	生地	7	2	29
6	-	応数	4	1	25
6	3	生化	4	1	25
6	-	機シ	4	1	25

※ 「採択率」=採択数÷応募数×100

学科別 採択率ランキング (新規+継続)

順位	昨年	所属	応募数	採択数	採択率(%) (※)
1	9	情科	4	4	100
2	4	基理	6	5	83
3	4	社情	5	4	80
4	2	応数	8	5	63
5	8	生化	7	4	57
6	3	知能	8	4	50
7	4	生地	9	4	44
8	7	応物	5	2	40
8	10	機シ	5	2	40
10	15	臨床	11	4	36
11	13	生体	9	3	33

※ 「採択率」=採択数÷応募数×100

学科別 獲得金額ランキング (新規のみ)

順位	昨年	所属	教員数 (※1)	獲得額(※2) (万円)	1人あたり (※3)(万円)
1	-	基理	17	1586	93
2	-	臨床	15	728	49
3	3	情科	15	390	26
4	4	生地	19	442	23
5	2	機械	16	312	20
6	-	社情	15	260	17
7	5	化学	15	208	14
8	8	建築	12	156	13

※1 教員組織表(学内)用がベース。

※2 直接経費+間接経費

※3 「1人あたり」=獲得額÷教員数

学科別 獲得金額ランキング (新規+継続)

順位	昨年	所属	教員数 (※1)	獲得額(※2) (万円)	1人あたり (※3)(万円)
1	15	基理	17	1703	100
2	3	生化	16	1001	63
3	14	臨床	15	910	61
4	10	社情	15	780	52
5	13	情科	15	637	42
6	1	知能	12	494	41
7	4	生地	19	741	39
8	6	機械	16	598	39
9	8	生体	11	338	31
10	11	応数	17	521	31

※1 教員組織表(学内)用がベース ※2 直接経費+間接経費

※3 「1人あたり」=獲得額÷教員数

採択率UPのために

■ 目標1. 応募件数の増加

目安: 国立110% 公立80%

→ 理大平均: 47% (1人1件以上を目標)

基盤、若手、挑戦的萌芽 と 「新学術領域」の重複応募

■ 目標2. 採択率の高い種目への応募

目安: 全国採択率(基盤C: 30%)

→ 理大(基盤C: H25(15%)、H26(24%))

■ 目標3. グループによる応募

研究計画(調書作成段階を含む)の最適化のため、研究分担者、連携研究者としてベテラン研究者に入って頂く。

採択率UPのために

研究計画調書作成をサポートします。

1. 作成時にアドバイザー紹介、添削。
(8割できた状態で添削すると効果大)
2. 読み手(審査員)を意識して、文字、
図表など読みやすさを確認。
3. 過去に採択された計画調書の公開
4. 実績のある研究者の講演(9月末予定)

採択率UPのために

1. 人文社会系が狙い目

理工系、生物系に比べ、人文・社会系の場合、比較的少額の研究計画が多く採択されている。

(文科省全国データ:分野別配分率より)

2. 分野別の採択課題名・金額を分析

→ 科学新聞社:「科学新聞」付録CD-ROMを貸出します。本室までご連絡ください。

応募者のメリット

■ 科研費に関する奨励金

500万円（H25,H26）を用意

1. **若手教員研究奨励金 200万円**（H25実績）

採択された准教授以下に応募額と獲得額の差額を按分して補填。

2. **申請奨励金 300万円**（H25実績）

不採択でも審査結果の順位が「A」ランク、「B」ランクの方に按分して配分。

不正防止について

■不正使用とは

- ・ルールに則らない使い方(カラ謝金, 預け金など)
- ・伝票改ざん 「1」→「4」, 「3」→「8」

など

■不正行為とは

- ・研究成果のねつ造, 改ざん, 盗用

など

罰則がさらに強化されます！

平成26年度公募分より
不正者の氏名や不正内容を公表

応募に向けたスケジュール

1) 例年9月1日 公募開始

■ 応募説明会 **9月末予定** (実績のある研究者講演)

※ 添削相談は **10月17日** ~~切~~ **予定** (本室へ提出)

※ 様式等はHPに掲載予定

2) 応募(学内) ~~切~~ **10月24日予定**

3) 翌年4月初頭 内定通知

**科研費を獲って
教員、学生、そして
大学に活力を！**

ご清聴ありがとうございました。

ご相談は、学外連携推進室まで
1学舎1階(学長室隣)